



CHARTERED JAN,3, 1980

THE SERVICE CLUB TO THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB

仙台青葉城ワイズメイズクラブ

THE Y'S MEN'S CLUB OF SENDAI-AOBAJOH

Sendai YMCA, 9-7 Tachimachi, 〒980-0822
Aobaku, Sendai 980-0822 Japan 仙台市青葉区立町9-7 仙台YMCA内
TEL(022)222-7533 FAX(022)222-2952 E-mail:info@sendai-ymca.org

== 2017~2018年度 主題 ==

国際会長【ともに、光の中を歩もう】Henry Grindheim (ノルウェー)
アジア地域会長【ワイズ運動を尊重しよう】Tung Ming Hsian (台湾)
東日本区理事【広げよう ワイズの仲間】栗本 治朗 (熱海)
北東部部長【距離に負けるな北東部 各クラブの個性を磨きましょう】鈴木伊知郎 (宇都宮東)
クラブ会長【**続** 楽しいことを数えよう!】加藤 重雄 (仙台青葉城)

VOL. 410

2017年09月

協調月間
ユースの月

<今月の聖句>

人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出る一つ一つのことばによる
(マタイによる福音書 4章4節)

巻頭言 「日本の若者とYMCAの存在 ~無理なく・楽しく・豊かな心で~」 川上直哉



少古い話です。2006年に、米国のギャラップという国際的な調査会社が、若者の人生観について国際的な調査を行いました。とても興味深い結論が出ました。

この調査の質問の一つは、こうでした。

「自分がなぜ存在しているかわからない、と思いますか？」

この質問を、米国と日本で10代の若者にしてみた、というのです。すると、はっきりとした違いが出たそうです。「自分がなぜ存在しているかわからない、と思う」と答えたのは、米国の若者全体の「たった22パーセント」だったというのです。それに対して、日本の若者の「85パーセント」が「自分がなぜ存在しているか、わからない」と答えた、というのです。

この調査では、同じような質問を、反対の言葉でも、しています。

つまり、「自分がこの地球上に存在していることには、意味がある、と思いますか？」という質問です。米国の若者全体の「76パーセント」が、「自分はこの地球上に存在していることに、意味がある」と答えたそうです。でも、日本では、若者全体の「たった13パーセント」しか、「自分はこの地球上に存在していることに、意味がある」と、答えなかったというのです。米国の若者の大多数は「自分がなぜ存在しているか、わかっている」上で、「自分はこの地球上に存在していることに、意味がある」と考えている。日本の若者の大多数は、「自分がなぜ存在しているか、わからない」上で、「自分がこの地球上に存在していることに、意味がない、かもしれない」と思っている、ということなのです。これは、10年前の調査です。ただ、今年の6月のラジオによると、最近の調査の報告がまた別の調査機関から出されたとのこと。そしてそこではほぼ、同じ傾向だったことが報告されていました。(次頁へ続く)

8月例会				B F		スマイル	
会員数	12名	メネット	1名	切手	kg	今月(8月)	8,000円
出席者	9名	ゲスト	0名	現金	0円	累計	28,600円
Make-Up	0名	出席率	75%	累計	0円	ファンド	円

会長 加藤 重雄
副会長 南澤 一右
書記 車塚 潤
会計 涌澤 博
直前会長 加藤 重雄
メネット会長 加藤 真子
担当主事 伊藤 雅宣

同じ時代を生き、同じインターネットのシステムを利用している、日米の若者に、全く違う様子が見て取れている。この調査結果は、おそらく本当だと、大学で教えていて、実感しています。学生にこの調査結果を伝え、その反応を見てみると、みなさん、「そうだな」とお感じになるようです。

私は牧師ですから、この現実の背景に「宗教の不在」を感じます。「今・ここ」を支える何かを持てなければ、自分の存在価値を、どうやって確保できるのか。年齢を重ねれば、自分の積み上げてきた何か、自分のよりどころになるかもしれない。でも、若い人にそれは無理です。本当は、そういう場面に、宗教が活用されなければならない。宗教を失った社会の脆弱さを、私たちは、若者の現実の中に見ているような気がします。

そうした中で、YMCA が全国にあることの意味を思います。宗教アレルギーが強い社会なら、それに合った何かを。そういう工夫が、ワイズメンズクラブや YMCA の諸活動に結実しているように思うのです。**無理なく、楽しく、豊かな心で。**すばらしい活動が展開していることを、神様に感謝しています。



8月第一例会報告

日時：8月25日（金）PM6：30～9：00
場所：藤崎ビアガーデン
出席者：(メ) 伊藤、井上、加藤、菊地、岸田、
佐藤、涌澤、車塚& (コメット) 凜ちゃん
(メネット) 加藤

9月第二例会報告

日時：9月7日（木）PM6：45～8：30
場所：仙台 YMCA203 教室
出席者：(メ) 涌澤、加藤、南澤、伊藤、菊地、
佐藤 (メネット) 加藤

今回の合同納涼例会の当番幹事は、仙台広瀬川クラブさんでした。大変お世話様でした。

例会会場は、藤崎ビアガーデン（屋上）ということで、お天気が心配されましたが、今年の長雨は、例会日の25日（夜）だけを避けてくれたようでした。仙台広瀬川クラブさんの普段の活動をお天道様はきちんと見てくれたような気がします。

参加者は、仙台クラブ 13 名、仙台広瀬川クラブ 14 名、石巻広域クラブ 4 名、仙台青葉城クラブ 10 名、ゲストとして遠くもりおかクラブより井上ご夫妻、門真 洋様（仙台広瀬川より）、石巻広域より 2 名様、そして北東部部長の鈴木伊知郎様の 5 クラブとゲスト総勢 43 名の大納涼例会となりました。

ビアガーデンを会場とした例会は初めての試みでしたが、広瀬川クラブの松本さんの計らいが功を奏して、メンバー同士のいつもの和気藹々とした交流の中で、プログラムが進みました。「クイズ 知らなかった！」のコーナーでは、ビールに因んだクイズが好評で、タイムオーバーにも関わらず部会の事や楽天イーグルス等話が尽きない中、石巻広域クラブ

日野会長の閉会点鐘でビアガーデン合同納涼例会は終了となった。 報告：菊地弘生



1 協議事項

- 9月21日（木）ゲストスピーカーについて
9月8-10日に開催されるYVLF（東山荘）に仙台Yから参加を予定している佐藤万春さん（仙台大学2年生でみらいのリーダー）の報告会とする。
- 9月9日（土）北東部部会出席予定者の確認を行う。当クラブから4名、4クラブ16名。
- 9月23日（水）チャリティーランについて
駅伝の部並びにファミリーランのチーム申込をそれぞれ1チームエントリーすることで決まる。
チーム名は、「Good standing 青葉城」となった。
協賛金の決済、案内チラシを配布する。
- 10月19日（木）チャリティーゴルフについて参加者数の進捗、協賛品等の内容について話し合う。
- 同日の午後6：45～始まるメネットナイトは、たシャロームの会施設長の菊地康子氏をお招きし、お話しを伺うこととなった。

2 その他連絡・報告事項

- 仙台YMCAより 9月30日（土）10時に第4回西山児童館祭りが開催。参加協力頂ける方は、9時15分までに現地集合お願いします。昨年と同じ駄菓子の販売ですが、「ゲームランド」という楽しいゲームを企画。
- 9月9日（土）北東部部会は、宇都宮グランドホテル午後1時受付開始に当たり、仙台から参加するメンバーの現地集合場所の確認を行った。
- ブリテン原稿担当者について 部会報告は涌澤ワズ、例会報告は菊地ワズ（8・9月）、メンバー紹介は尾木ワズが担当。 報告：菊地弘生

北東部部会 & 宇都宮東クラブ 25 周年記念例会報告

9月9日(土)、北東部会、並びに宇都宮東クラブ 25 周年記念例会が、宇都宮グランドホテルにて開催されました。我がクラブからは加藤会長、菊地ワイズ、涌澤ワイズ、そしてメネットの私加藤の計4名です。

仙台広瀬川クラブの加藤ワイズが手配して下さったマイクロバスに、仙台3クラブ並びに石巻広域クラブのメンバー計15名が同乗して参加して来ました。

栗本理事、とちぎYMCA 鷹簀理事長よりの歓迎の挨拶をいただき、その後は「各クラブのよいところ」ということで、仙台青葉城は全員登壇でアピール！私はメネットあつての青葉城と吹き込んできました。

記念講演は「認知症になっても繋がる人」と題して、宇都宮東クラブの金沢林子さん(「認知症の人と家族の会栃木県支部」代表)が宇都宮市で運営するカフェ「オレンジサロン石蔵」での活動についてのお話をお聞きしました。他人事ではない年齢となり、このようなカフェが広がることに希望を見ました。

部会後は宇都宮東クラブ 25 周年記念例会が開催。岡田会長による 25 周年の歩みの苦労話が愉快(?)に話され、宇都宮東の持つパワーを感じてまいりました。晚餐会では鈴木北東部長ご夫妻も参入されゴスペルが披露され、手話を交えたご夫妻の一生懸命な姿がとても印象的で、少ないメンバーながら集まった人々を盛り上げようとする心意気が伝わった記念例会でした。帰路は再びマイクロバスに乗車、ドライバーさんの安全運転のもと無事帰宅いたしました。



鈴木部長は何と部会の翌日、広瀬川クラブの「楽天試合観戦例会」に仙台に駆けつけてくれました！

報告：加藤真子

第 21 回チャリティーラン

前日の雨天で決行が心配されましたが、朝には雨も上がり、お馴染み大会会長のさとう宗幸さんの挨拶の下、無事「第 21 回チャリティーラン」が開催！チャリティーランは心身に障害のある子どもたちを支援し、同時にこの活動を通して、「真に豊かな社会」への関心が高まることを願うものです。



青葉城クラブの駅伝チーム名は「Good standing 青葉城」

←こちらは我が菊地メンのゴールの瞬間！お疲れ様！

駅伝のほか、ファミリーラン、宣言タイムレース、ハンディキャップ体験などあちこちで喚声が上がっており、お楽しみの昼食は、メネット持参のお弁当で和やかに一日を過ごしました。皆さんもどうぞコメント、孫メットと楽しく参加下さい。



報告：加藤重雄

9/10 仙台広瀬川クラブ「楽天観戦例会」



鈴木北東部長、ありがとうございました。青葉城クラブからは、菊地、涌澤両ワイズが出席！

9/30 西山児童館まつり

今年で第4回目となる西山児童館まつりが、9月30日(土)に開催されました。西山児童館は、仙台YMCAファミリーセンターが指定管理者となって運営している児童館であり、その館長は我がクラブの担当主事の伊藤雅宣さんです。

今回の青葉城クラブの担当は、金原メネットと私加藤が「駄菓子屋さん」、菊地メンが「おたのしみ&募金コーナー」担当となりました。70名の児童館クラブの子どもたちの他に、西山小学校に通う子どもたちがおまつりに参加、館の中では手作りのゲーム大会や工作、館の外でもソーメン流し?と思いきや、スーパーボール流し、マシュマロ焼など、さまざまなゲームが行われ、館の内外で子ども達の楽しそうな声が響いていました。子ども達が安心して過ごせる場として、児童館の持つ役割をひしひしと感じてきました。伊藤さん毎日ご苦労様!



だがしやの看板娘(メネット)

10月第一例会 メネットナイトのご案内

10月19日(木) 仙台YMCA 203教室
18:45~20:30

菊地康子さんによるスピーチ
「共生社会」について

その後に、馬頭琴によるミニライブを予定
しています。~どうぞお楽しみに~

メンバー紹介(3)

尾木善宣



元気なお母さんと子ども達

夏らしさを感じることなく秋の装いを迎えてしまい、何となく物足りなさを感じている今日この頃ですが皆様はいかがお過ごしでしょうか。

私は仙台青葉城ワイズクラブの尾木善宣と申します。当ワイズの担当主事を7年させていただいた後にメンバーとなり5年が経ちました。仕事は特定非営利活動法人仙台YMCAファミリーセンターに所属し現在は富谷市の日吉台児童クラブの施設長をさせていただいております。今年から富谷市の3施設(富ヶ丘・あけの平・日吉台)の児童クラブの運営を受託し日々奮闘の毎日です。地域が違ふと運営の仕方も違ってくるので、最初は戸惑いもありましたが、夏休みを経て少し慣れてきたところです。

家族は妻、子ども3人、父、母、祖母の8人で日々を過ごしております。子どもたちは6年生、4年生、2年生になり日々の成長の速さに驚く毎日です。最近6年生の娘の陸上記録会の練習に付き合って体を動かしていることが運動不足解消と良い気分転換になっております。ワイズの例会は仕事や体調不良が続く欠席が続いてしまうことがありましたが、極力参加できるように今後は体調管理をしっかりとしていきたいと思ひます。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

第46回 YMCA クリスマスのご案内

日時 : 12月1日(金) 18時~

場所 : 仙台市民会館展示室

一般¥1,000 学生¥500(中学生以上)

小学生¥300 留学生 無料

*ボランティア、協賛、企業広告も募集しております。

実行委員長: 涌澤博

お誕生日おめでとう

9月4日 尾木 善宣さん

9月29日 川上 直哉さん



編集後記:再スタートしたプリテンが9月でストップかと気が気でなかったのですが、何とか発行!楽しみに待たれる例会、プリテンを目指したいと願ひます。発行日の今日は中秋の名月です。